

横田基地での人員降下訓練について（口頭要請）

令和8年6月11日（木）に防衛省北関東防衛局より、令和8年6月15日（月）から18日（木）まで横田基地において、横田基地所属のC-130スーパーハーキュリーズ及びCV-22オスプレイからの人員降下訓練が実施されるとの情報提供がありました。

このことに関しては、昨年11月、降下訓練における場外への降着やパラシュートの落下が発生したことを受け、パラシュート降下に対する周辺住民の不安は大きくなっています。また、横田基地は人口が密集した市街地に所在しており、周辺住民は日頃から、航空機の騒音に悩まされ続けています。

ついては、周辺住民の平穏な生活及び安全を確保する観点から、次のことを要請します。

- 訓練を実施する時間、使用する航空機の機数及び降下人数等について、より詳細な情報を関係自治体に提供すること。
- 市街地上空での低空・旋回飛行訓練は実施しないこと。また、CV-22オスプレイは令和5年に発生した墜落事故等によって、安全性に対する周辺住民の不安が大きいことを踏まえ、最大限の配慮をすること。
- 訓練従事者に対して、安全の重要性を認識させるとともに、基地外に影響を及ぼさないよう、安全対策に万全を期すこと。特に、使用する航空機及びパラシュート、装備品等の使用器材等の安全確認は徹底すること。
- 必要最小限の機数及び人員での訓練を実施すること。

令和8年6月12日

在日米軍横田基地第374空輸航空団司令官

リチャード F. マックエルハニー大佐 殿

横田基地周辺市町基地対策連絡会構成市町長

立川市長	酒井大史
昭島市長	臼井伸介
福生市長	加藤育男
武蔵村山市長	山崎泰大
羽村市長	橋本弘山
瑞穂町長	山崎栄

幹事 立川市長 酒井大史